



Rotary Serving Humanity  
2016~2017年度RIテーマ

例会場：ホテル プエナビスタ / 例会時間：第1・2水曜日 19:00~20:00, 第3・4・5水曜日 12:30~13:30

「お城を見つめ直す」

移動例会

於：湯々庵 枇杷の湯

(館内；日本料理「草創庵」)

開 会 12:30

S A A 宮澤クラブ管理委員長

ゲスト紹介 西牧会長

講師；枇杷の湯

17代目湯守 小口 毅 氏



歴史溢れる松本藩の湯殿

びわのゆ

湯々庵 枇杷の湯



会長あいさつ



西牧会長

信州・松本の奥座敷、  
浅間温泉に佇む石川家ゆ  
かりの伝統の湯「湯々庵  
枇杷の湯」で例会を開く  
ことができました。玄関  
を入り、見えてくる中庭  
には400年の昔、松本城主  
石川康長により手植えさ

れた大きな松が現在もしっかりと保存されており、  
その見事な枝振りに感動しました。今日は第17代当主  
の小口毅さんから、石川家とこの湯殿の歴史、またす  
べての当主との歴史を聞くことができます。浅間と松  
本城の歴史をさらに深く理解することで、松本市民と  
して松本城を未来永劫に守っていかなければならな  
い財産であることの思いを深めることができます。

小口様、よろしくお願いします。

幹事報告

藤田幹事

※第39回中信平9クラブ合同親睦ゴルフ大会の  
お知らせ。(ホスト…松本南RC)

日時…6月11日(日)8:00集合、8:20開  
会式、9:03スタート。場所…あづみ野カント  
リークラブ。参加人数…各クラブ5名以上(何名  
でも可)。登録〆切…5月19日(金)。

出席報告

会員総数 22 名(内出席規定適用免除欠席者 3 名)  
本日の欠席者 6 名(他 3 名は事前メイキャップ済)  
出席率 68.42%

前々回(3/1)修正欠席者 5 名 出席率 73.68%

ビジター受付

[松 本RC] 平 利行君・小山正広君・久保田享君  
[松本南RC] 清水和志君・春日孝介君

ニコニコボックス報告

コメント ◇石川家ゆかりの「枇杷の湯」楽しみに  
していましたが、松を見て感動しました。西牧君  
◇枇杷の湯様よろしくお願ひします。藤田君 ◇  
亡父ゆかりの枇杷の湯での会で、いろいろの想い  
を馳せさせていただき感謝です。上條君 ◇枇杷  
の湯には昔の来た時の事を思いだして、ぐるぐる  
廻ってやっと着いた。井筒君 ◇浅間温泉の奥へ  
久し振りに来ました。よろしくお願ひします。西  
川君 ◇先日は、移動例会にさせていただきありが  
とうございました。塚本君

配布資料

「松本城 代々の城主・略年表」「浅間温泉略図」  
「幹事報告」「会報No.32・33」



## ～ プログラム ～

### 講師紹介

山崎会員

湯々庵 枇杷の湯  
17代目湯守

小口 毅氏

利用者が減少傾向にある浅間温泉の活性化を目指し、地元旅館や洋菓子店などの異業種の若旦那5人で「旅興(たびおこし)会」を結成しております。

### 講演「殿様が入湯した由緒正しい温泉」



信州・松本の奥座敷、浅間温泉にたたくむ伝統の湯。「湯々庵 枇杷の湯」の歴史は、今を遡ること400年の昔、初代松本城主 石川氏が浅間に湯御殿を造営し、湯殿を整備

したことから始まりました。初代の湯守である先祖「石川晶光(改易後 小口楽斎)」は、石川数正公の三男 康次の子であり、戦で負傷し歩行困難の身となったことで御殿守の役職をあずかるに至りました。時に文禄三年(1594年)です。以後、小口家は代々御殿湯の湯守を勤め、松本藩の最藩政資料となる「信府統記」にも、「湯守小口治庵と云う者代々之を務む」とあります。

国宝の松本城。北アルプスをバックにした美しい城は今から400年ほど前に石川数正、康長親子によって造られました。松本は江戸時代にはこの城の城下町として栄え、現在も長野県の中南信地域の中心地となっています。

この松本の奥座敷と呼ばれるのが浅間温泉で千年以上の歴史があり、多くの文人、歌人に愛されてきた。「湯々庵 枇杷の湯」の主人、小口氏は松本藩主、石川数正の子孫です。石川氏が改易された際に小口という名前に改名し、以後、明治になるまでの間、湯守として浅間温泉と御殿湯である「枇杷の湯」を守ってきました。

「枇杷の湯」はその後、400年の歴史とともに老舗旅館として営まれてきたが1997年5月で営業を終了し、同年12月より日帰り温泉施設としてオープンしました。

現在の「枇杷の湯」の建物は御殿湯の詰所の跡といわれています。館内には先祖代々の文化遺産を公開し、湯守の歴史や家宝などの展示スペースを設けています。大浴場は1階と2階にあり週毎に男女を入れ替えています。もともと老舗旅館だったということで内部はちょっと豪華で落ち着いた雰囲気です。お風呂は20人ぐらいが入れるタイル張りの湯船でジェットバスと泡風呂がついております。お湯は無色



透明で掛け流しになっており、温度は適温です。湯船の端には飲泉ができるスペースもあり、他にサウナと水風呂もあります。大浴場の外には檜の露天風呂があり、大きさは5人が入れるくらいの湯船で、こちらもお湯は掛け流しです。温度は内風呂と比べると少しぬるめ。館内の休憩所も昔の客室を使っており落ち着いた造りになっております。2階には個室の休憩所も設けております。中庭には石川康長公お手植えの松が今も美しい姿を見せています。



湯々庵の建物の向かいには「お殿様の野天風呂」と呼ばれる露天風呂があります。ここは、まさにお殿様の入湯所である御殿湯があった場所です。こちらは岩風呂で12人ぐらいが入れる大きさ。お湯の温度も適温で、とても気持ちの良い露天風呂なのですが、以外にも入りにくる人は少ないのでのんびりとお湯に浸かることができます。

館内には、お殿様やご家老の名前の記録(湯銭帳)が残されています。また、城主の残した袴(かみしも)や往時の資料なども展示しております。敷地内にも百日紅の古木や檜の大木とともに、松本城主石川康長公お手植えの松の大木が、美しい枝振りとともに史蹟の景観を残しています。

お礼のことは

西牧会長

閉会 13:30

西牧会長

《枇杷の湯 ご案内》

\*泉質/アルカリ性単純泉(源泉温度49.1℃.pH8.8℃)  
\*適応症(浴用)/慢性リウマチ性疾患、神経痛、神経炎、慢性胃腸病、外傷、火傷、痔疾、慢性皮膚病、糖尿病、慢性泌尿器疾患、中枢性・末梢性麻痺、疲労回復、婦人化的疾患  
\*適応症(飲用)/肝臓、胆嚢疾患、糖尿病、慢性泌尿器疾患、慢性胃腸病 \*営業時間/9時~21時(野天風呂は20時まで) \*定休日/月曜日(祝日の場合は翌日)  
\*入湯料/大人800円・子供500円(4才~小学生)

4月5日例会プログラム/移動例会(創立記念例会)

[写真; 西川]